



# 足立区政ニュース

## THE ADACHI KUSEI NEWS

發行  
足立區千住一ノ五〇  
東京都足立區役所

編輯

總務課文書係

淺草 4 4 0  
足立 3 8 4 7

### 裏門堰排水場完成!!

#### 十一月廿七日落成式舉行 東京都知事、東京都議會建設委員長 等名士多數參列

多年の懸案事業であり吾が足立區民の久しく待望しておりました當區伊藤谷本町地間の裏門堰排水場は、一部雜工事を殘し此の程竣工し去る十一月廿七日地元協賛會の主催に依り東京都知事臨席のもとに盛大に祝賀式が舉行されました。東京都知事の告辭に先立ち足立區長の式辭都第五建設事務所長武田和吉氏の工事經過報告等があり次に多數の來賓祝辭の後當區水害防除促進連盟會長嶋下榮吉氏の挨拶があり更に協賛會長島崎正次郎氏の謝辭を最後に本工事請負人勝村建設株式會社取締役社長勝村幾之助氏に對する感謝狀並に記念品贈呈等があり參會者四百余名に達し盛會裡に祝賀式を終りました。

本裏門堰排水場は昭和十四年元東京市土木局に於て都市計畫繼續治水事業費を以て起工したが幾多の支障の爲に着工するに至らず其の豫算の繰越によつて繼續されてゐたが昭和十七年三月十八日小溝組と工事の請負を締結し同月二十五日着工の運に至り戦時中の資材勞力等の需給極めて困難な折柄にも拘らず鋭意工事の進捗に努力中でありましたが戦争の苛烈化に伴ひ同年五月十日遂に工事の中止の已むなきに至つたのであります其の後終戦と共に都に於きましては直ちに工事の再開を計畫し準備の完了と共に昭和二十一年十一月勝村建設株式會社の請負施行に依り愈々工事を再開し本日の竣工を祝するに至つた次第であります。

設備の概要を申し上げますと石川島芝浦タービン株式會社製作の口徑八〇〇耗軸流ポンプ二台を裝備し其の排水量は毎秒一、四七立方メートル（七、九七五）二台合計毎秒二、九〇立方メートル（九五五）であります。この排水場の負擔する排水面積は約三二九ヘクタール（三三二町歩）であります。又動力は三〇〇〇ボルト一〇〇kw三相誘導電動機一台と新湯鐵工所製一五〇馬力ゲーゼルエンジン一台を裝備しまして停電時の運轉にも差支へ無い様に致してあります。ゲーゼルエンジンの方は目下機體の裝備中で据付完了までに至つては居りませんが近

く据付可能の見込であります。尚この排水場に要したる工費は土木費七百四拾六萬六千圓機械費三百九拾一萬三千圓計一千一百三拾七萬九千圓でありまして本排水場の完成に依り埼玉縣より流下する見沼用水の流末に當る五反野南町、千住高砂町、同末廣町、八千代町、梅田町、四ツ家町、島根町等の底濕地帯の水害防除に與つて力あるものと思ひます。

### 美觀商店街について

本年四月北千住驛前通りが他の店舗街にさきがけて東京都美觀商店街に指定告示されたがこの美觀商店街は私共社會生活の中心となる商店街を形成し店舗並に街路を美化しもつて都民の美的觀念の昂揚を圖ろうとするものであります。主として指定地區の關係者が自主的に協會を組織して都の簡潔な指導の下に實施しようとするものであります。

1. 未建設地の美化
2. 街路上の指導標、街路灯、水槽、塵箱等の清掃
3. 道路並に街路樹の補修整備
4. 照明の統一
5. 廣告の整理統合、看板の整理統一
6. ショウインド、ショウケース等の美化商品陳列方法の

### 選挙人名簿の縦覧を終りて!

本年九月十五日現在で調製した衆議院議員選挙人名簿は法規の定めるところに従ひ十一月五日から十九日まで十五日間區役所又は各出張所において皆さんの縦覧に供しましたことはポスターにより御承知のこと、思ひます。

公私共に御多忙の有様者全部がこの名簿を閱覽することは不可能であるとしても選挙執行の都度脱漏問題を云々されているとき、余りにも閱覽者の数が少なかつたことは残念であります。

當委員會においては一人も洩れることなく調査登録して尊い権利の行使に遺憾なきを期したいと無理な機構と僅かな職員で最大の努力をしておりませんが、約十三萬人の有権者の中には、お願した申告書の提出もなせず、且又この縦覧期間中の閱覽をしない方が相當數あります。

既に縦覧期間も終了し異議申立者の異議も決定しましたので、十二月二十日の確定日を待つて効力が発生しますが萬一登載洩れの方は選挙の都度改めて申告により臨時に登載できる昭和二十二年法律第二號による臨時衆議院議員選挙人名簿に關する特例が本年一ぱいで、この法律の適用期間が延長にならない限りは誠に御氣毒ですが來年度の選挙には投票できません。

幸にして右の法律が改正され適用期間が延長されてその後には選挙執行する場合には改めて申告についてのお知らせをいたしますから特に御注意下さい。

なほ縦覧期間は終了しましたので縦覧はできませんが名簿に登録の有無を知りたい方は便宜お知らせしますから當委員會へお出で下さい。（足立區選挙管理委員會）

### 都営住宅の抽籤

去る十二月一、二、三の三日間受付ました昭和二十三年度第三回都営保木間第二住宅の申込者の抽籤を來る十二月二十日午前十時三十分から足立區役所二階區議會議事堂で行います。

なお戸山町第一住宅の抽籤は東京都建築局企畫課管理係（神田橋際）で行いますから詳細は建築課管理係へお問合せ下さい。

# 愛犬を狂犬病から

## 護りまじよう

本年度に入つてから狂犬病の發生は十月末日現在で六九頭(昨年(の二倍以上)に達し被害者は二四三名にも及んでい

ます。世相不安の折柄番犬の需要が俄かに高まつていますが無届犬があるため豫防注射未済の犬が日々増加の傾向を來し野犬の濫殖も日に加わり誠に憂慮の状態にあります。皆様の畜犬は必ず届出を済し豫防注射をうけられるよう御協力をお願いいたします。

畜犬届は區役所稅務課區役所出張所及び足立保健所(梅島支所管内は足立保健所梅島出張所)の三箇所に一通づゝ提出願います。畜犬鑑札は稅務課から交付されます。

鑑札のない畜犬は野犬とみなし捕獲することになつてい

ます。す。本年度の狂犬病豫防注射を左記の通り實施いたしますからお忘れなくお出下さい。なお未済犬所有者は家畜傳染病豫防法により時により罰せられることがありますから御注意下さい。

一、日時及場所

### 第三回補修用板硝子抽籤

足立區役所管内の畜犬の兩日午前九時より正午まで  
千住一丁目  
足立區役所内庭において  
梅島支所管内の畜犬  
十二月九日のみ  
午前九時より正午まで  
梅島町梅島支所の庭において

第三回補修用板硝子の抽籤會は去る十一月二十四日午前十一時より區會議事堂に於て關係者多數立會の上舉行した結果申込者五百七十九名中當籤者は二百九十四名でありました尙當籤者は次の通りです。

- |       |       |
|-------|-------|
| 中村 巖  | 大熊 福造 |
| 遠藤 松方 | 川島 藤吉 |
| 燕木欣一郎 | 大原伊太郎 |
| 野村佐吉郎 | 渡邊 綱治 |
| 杉山 義弘 | 野上正三郎 |
| 小久保 清 | 豊田 武治 |
| 中村 良輔 | 並木 庄平 |
| 梅澤 鈴雄 | 川名 春吉 |
| 市川 和吉 | 奥石清一郎 |

- |       |        |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 中川 晴文 | 小西 忠二  | 今泉柳一郎 | 梶野 藏松  | 渡部 福三 | 佐藤 冬吉 |
| 萩原福太郎 | 板屋伊佐美  | 石川 仙藏 | 松木 兵二  | 江川 總司 | 石原 肇  |
| 堀田 勇  | 赤松元太郎  | 神戸 滿治 | 笠原三子治  | 荏原榮次郎 | 藤井 政次 |
| 倉島 義人 | 森山 一雄  | 杉山 輝雄 | 中根 正三  | 清澤 すみ | 關塚幸三郎 |
| 下山 五郎 | 永松 卯造  | 高橋 藤吉 | 清川 由松  | 根本 正治 | 山崎彌三郎 |
| 伴 信男  | 永塚勝太郎  | 白露 惠  | 會田 伊吉  | 久保田三郎 | 今泉喜代造 |
| 田中 平治 | 中村 重基  | 谷崎 兼雄 | 佐藤仁三郎  | 若山若中助 | 國井重次郎 |
| 高梨 高藏 | 樋口 俊國  | 知久 萬吉 | 加藤 庄吉  |       |       |
| 中島勝次郎 | 關根 治男  | 内田 島吉 | 鈴木 豊治  |       |       |
| 平賀源治郎 | 宇田川定吉  | 島海 竹雄 | 内田 敬介  |       |       |
| 木村 利男 | 田邊 政雄  | 伊藤 龍一 | 西川 品子  |       |       |
| 菅原 要  | 高野 義男  | 伊野 賢壽 | 同 上    |       |       |
| 伊野 賢壽 | 小金井政雄  | 佐藤 林吉 | 濱野 勇松  |       |       |
| 山田 孝治 | 古川 好學  | 田邊雅之助 | 齊藤 順夫  |       |       |
| 薄葉光佳雄 | 市原武三郎  | 加藤 六二 | 高橋 順一  |       |       |
| 村上 仲代 | 小松原太厚郎 | 木下六之助 | 小野 繁   |       |       |
| 須賀 末吉 | 山崎 末吉  | 灰田 照昭 | 川瀨 清   |       |       |
| 矢澤清市郎 | 内田 靜雄  | 金澤 繁松 | 上原幸三郎  |       |       |
| 大瀧 勝  | 鈴木 春子  | 石井勝太郎 | 川田源次郎  |       |       |
| 今井重太郎 | 岩上 さわ  | 小島 正次 | 中村 昇   |       |       |
| 嘉藤 西松 | 小倉 惨三  | 山口 徳藏 | 結城 勝代  |       |       |
| 森田 實  | 飯田 百平  | 菅野 淺治 | 八木下林之助 |       |       |
| 池上 次男 | 同 上    | 宮越 正雄 | 鈴木勘次郎  |       |       |
| 猪場 むめ | 原科 光夫  | 佐藤 等  | 福本徳太郎  |       |       |
| 石橋 代吉 | 石井 誠潔  | 福本 吉藏 | 下田 敬男  |       |       |
| 北條 治助 | 曾根 常政  | 清水 和圭 | 芳賀 森治  |       |       |
| 逸見 義治 | 松下龜太郎  | 奥田 利世 | 國井 金次  |       |       |
| 福田徳太郎 | 佐藤 松夫  | 宇山福太郎 | 堀江 マサ  |       |       |
| 杉村松之助 | 平井英太郎  | 松田 繁  | 江坂 重雄  |       |       |
| 大原善次郎 | 永浦 嘉六  | 兒玉 正次 | 三紫利一郎  |       |       |
| 淺賀 利一 | 山本 幸吉  | 舛田 さん | 芦田 光二  |       |       |
| 小浦 重利 | 久野 金一  | 渡邊徳太郎 | 安達 靖   |       |       |
| 齋藤 治作 | 長南 清春  | 永井 一己 | 佐伯 利次  |       |       |
| 鷺見 正男 | 駿河 政雄  | 石井 康  | 矢萩 篠春  |       |       |
| 萩野 行雄 | 小西 忠二  | 武藤 マサ | 松井孝一郎  |       |       |
| 伊藤仁太郎 | 矢澤 實   | 大黒 喜藏 | 同 上    |       |       |
| 高野 忠藏 | 徳水 徳治  | 我妻 重  | 同 上    |       |       |
| 緑川 壽定 | 佐藤捨五郎  | 長谷川 章 | 豊田 タマ  |       |       |

### 職員 素人のど自慢 祭文化

都職勞足立支部足立區職員共濟組合共同主催で去る十一月二十日(土)區會議事堂に午後一時より文化祭が催された。各課各出張所よりそれぞれ代表を送り銘々自慢のどに満場を魅惑させ賛助出演の比留間絹子さんの主催する比留間マンドリン樂團の演奏する妙なるメロデーに満場は更に魅了された。

終つて入選者の發表並に審査員第三中學校の教諭今里先生の講評がありつづいて足立區長より入選者にそれぞれ賞品を授與された。

- |    |             |             |
|----|-------------|-------------|
| 一位 | 涙の乾杯        | 入選者の諸氏は左の通り |
| 二位 | 教育課 杉下 幸義   | 歸れソレントへ     |
| 三位 | 稅務課 丸橋 正己   | 歸り船         |
| 四位 | 保健所 今川 勉    | 歸り船         |
| 五位 | 第三出張所 佐藤喜代子 | なつかしのブルース   |
| 七位 | 梅島支所 島海千恵子  |             |

金屬加工  
プレス、打抜  
辻本工業所  
代表者 辻本定助  
足立區野町三〇九  
電話足立二八七五番

石黒製菓  
株式會社  
取締役社長 増田艶一  
千住三丁目五四  
電足立二七〇四

井口整形  
外科病院  
元方面館跡  
赤門隣

木材と石材の御用は  
東武建材  
株式會社  
取締役社長 永井一己  
東京都足立區栗原町一二五八  
電話足立二二六〇番

# 區政と私達

此の欄への投書は區役所總務課文書係願宛にします

## 區役所直營自轉車預所の設置を望む

足立區農地委員 市川欣史

足立區役所直營の自轉車預所を設置して下さい。預料に就いては無料が望ましい事は申す迄もありませんが、預所の維持管理等の爲には少額の預代徴収は忍べない事もありませぬ。位置交通其の他の關係で區役所へ出入する人の相當數が自轉車を利用している事は誰にも容易に想像されるのですが、此の人達が完全な自轉車預所がないので其の都度問誤々々せざるを得ない有様ですが、いつて一回の預料金拾圓也の私設預所の場合によつては一日三回三拾圓もの預料を支拂はれば用務を達し得ない場合もあり遂には癪にさわつて之を意り路上に放置して盜難を心配しながら用務を達する時の焦々した氣持明瞭たり得ざるもの之より甚しきはなしと云い度いのです。

従来も區役所と密接な關係にある公務員諸先生の自轉車には僅少な台數であつても、監守者が嚴重な監視をしていた様であり、ますから此の制度を整備擴大して一般預用となし、少額の預代徴収(希望は勿論無

「明期區政の確立は直營自轉車預所の設置から」些細の事ながらこんな處にも區政明瞭化への途があり此の事の實踐を自轉車を利用して區役所へ出入する人々の誰もが希望しているのではないかと等々想像いたしまして本件希望の達成に係各位の一層の御努力を切に御願いたします。

### お答 足立區長

市川欣史氏にお答えします。區民の皆様を對象とする區營自轉車預所の設置につきましては御申出の通りでありまして、實は區に於いてもかかれてから之が設置の計畫を立て、ゐたのでありますが設備、費用、監守者その他いろいろ支障があり未だ實施に至らずが極く近々皆様の御期待に

添ひ得る區營自轉車預所(無料の豫定)の設置も實現の運びとなつておりますので、( )のニュースの發行される頃には實現してゐるかも知れませぬ( )今しばらくお待ち願ひたいと思ひます。

### 物價監視員(續)

堤北

- 渡邊彌左衛門千住高砂町五一
- 太田原銀次郎千住高砂町二〇六
- 三浦 惣二 千住末廣町七〇
- 鈴木米三郎 本木町一ノ四三八
- 森 辰雄 本木町一ノ六〇〇
- 川下 トミ 本木町二ノ一、三、七
- 瀨田 フミ 本木町二ノ一、八、四〇
- 鈴木 義雄 本木町四ノ五、六、三
- 佐分 金藏 興野町九六二
- 久保田新之助本木町三ノ二、六、五
- 尾崎 武市 栗原町一、四一〇
- 小阪 純三 西新井町一、〇、五
- 佐々木高則 興野町三、八、三
- 宮下 武郎 梅田町一、七、三、四
- 江川 長吉 梅田町一、二、五、九
- 市毛丑之助 梅田町三、四、三
- 富井 近藏 島根町一、〇、五、一
- 宇賀源次郎 梅島町一、八、六、五
- 町田 義三 小右衛門町四、六
- 金子 琢磨 小台町五、七、九
- 神戸 庄作 南鹿濱町六〇
- 稻澤 淨光 北鹿濱町三、七、〇
- 石井 重譽 下沼田町二〇一
- 石黒 弘一 高野町三、三、七
- 市川治右衛門入谷町四〇、四
- 八田 晃尊 伊興町狭間金四
- 若月榮三美 保木間町三、六、六
- 大久保榮吉 内匠本町一、三

- 羽住きみ子 大谷田町一、四、六
  - 梶本 儀藏 北三谷町三、一、七
  - 齋藤 正司 長門町三、四、四
  - 加藤 量晃 蒲原町一〇、八
  - 市村 貢 五反野南町一、二、六、五
  - 板垣己之松 伊藤谷西町八、八
  - 古郡 錦治 伊藤谷本町三、一
- 計 六十名

### 配給だより

#### 妊産婦に愛育綿

兒童福祉法による母子手帖の發行を機に妊産婦の利便を圖るため恩賜財團母子愛育會東京支部製作の愛育綿(規格外胎脂綿)が左の通り配給されます。

#### 一、配給對象

希望者配給として妊産婦を對象として希望者先着順に購入券を交付

#### 二、配給品目

愛育綿一人一組(一包五〇〇瓦入)を五包)

#### 三、價格

一組一三〇圓(の割引)但し配給期間中に限る

#### 四、購入券交付期日

十二月七日以後各出張所にてお問合せ下さい

#### 五、配給期間

自十二月十日 至十二月二十日

### 疊表が配給になります

今度疊製品の配給手續が變つて區役所で取扱ふことになりその第一回配給が近い内になります。

配給を受けられる方は一般の方で一回二十枚以内となつていますが新築用や大口消費者は受けることが出来ません。

### 第十一回革靴

#### 家庭配給

革靴の配給を近くいたしますが入荷次第出張所掲示板に掲載しますから掲示板に御注意下さい

配給期日は早い所は八日頃より順次行ひます

申込所 區出張所

### 供出たより

#### 農家の皆さんへ

昭和二十三年度の供出は事前割當の一萬四千二百六十四石に對し補正供出割當數量は一萬七百石となり十二月一日現在一六、四四五俵(六五七八石)五九%となりました供出一〇〇%完途のため今後一層の御協力をお願いいたします。

牛豚肉の御用は

一丁目 鈴木商店

電話足立二六三三四

用具店 スポーツ用品店 新生ノお菓子とコーヒ

# 新生

千住3-3 TEL足2102

鈴木商事株式會社

卸 部 小 賣 部

速 速 速

襖表裝 對立 金、銀、屏風 其の他一式請負 御一報次第參上 致します

清水表具店

千住高砂町一、二、二 元三軒家通り土手際

# 税金と私達の生活 (四)

## 都税の話 其三

四、餘裕住宅税について  
 今回の地方税法の改正で東京都並に戦災都市町村及その附近の市町村では當分の間住宅として著しく餘裕あるものに對し餘裕住宅税を課することに出来る様になりましたので東京都に於ても今年度からこれを賦課徴収することに成りましたこれは現下の住宅事情を考へるとき餘りにも當然な事だと思ひます。

課税の対象となる餘裕住宅とは、一戸の住宅(空住宅を含む)の疊数の合計が三十疊を超える場合であつて且つその疊数の合計を世帯人員で割つた數が五を超えるものであります。云い換えれば總疊數より世帯人員に五疊をかけた疊數(三十疊未滿の場合)は三十疊(繰り上)を引いた疊數(五疊未滿は免税)を課税對象とします。

(例1) 世帯員 8人  
 總疊數 50疊の場合  
 $50 - (8 \times 5) = 10 \dots$  餘裕疊數 (例2)  
 世帯員 2人  
 總疊數 35疊の場合  
 $35 - 30 = 5 \dots$  (免税)  
 二つ以上の世帯が同一の住宅

ここで特に注意する處は右の税率は遞次に加へられます。  
 (例1) 餘裕疊數 25疊の場合  
 25疊の内 10疊 × 45% = 450圓  
 残りの 15疊の内 5疊 × 60% = 300圓  
 10疊の内 5疊 × 75% = 375圓  
 5疊 (は 5疊 × 90% = 250圓  
 計 1575圓……普通税  
 1575圓 × 0.30 = 472圓50  
 ……都市計画法  
 合計 2047圓50  
 ◎都税の端數計算法  
 都税については金額に一圓未滿の端數が出た場合は切捨ます。例へば二千四十七圓五十錢の場合は二千四十七圓とします。(〇〇〇〇)

3人(世帯員)ある場合は  
 $70 + (3 + 2) \times 3 = 49 \dots$  世帯員  
 $70 + (3 + 2) \times 2 = 28 \dots$  世帯員  
 賦課期日  
 第一期 毎年 四月一日  
 第二期 " " 七月一日  
 第三期 " " 十月一日  
 第四期 " " 一月一日  
 各賦課期日現在で賦課され二十日以内に徴収いたします。

疊数	税率
十疊以下一疊につき	四五圓
十疊以上	六〇圓
十五疊以上	七五圓
二十疊以上	九〇圓
二十五疊	一〇五圓
三十疊	一二〇圓
三十五疊	一三五圓
四十疊	一五〇圓

これは期税でありますから年四回が、ります。別に都市計畫税として本税一圓につき三十錢の割で、ります。

### 拾貳月納税の御知らせ

都民税 第二期  
 特別所得税 第二期  
 事業税 第二期

### 華麗ノシーズン掉尾を飾る 第一回區民体育大會

去る十月三十一日に始つた第一回足立區民体育大會は區民の壓倒的支援を受け十二月五日大盛裡にその幕を閉ぢた。各競技優勝記録は次のようである。

男子 100米 一位(一秒二)	日下部 藤
200米 二分(三秒一)	伊藤 藤
300米 五分(三秒)	日淺 藤
400米 一分(五秒二)	日淺 藤
500米 一分(五秒二)	日淺 藤
600米 一分(五秒二)	日淺 藤
700米 一分(五秒二)	日淺 藤
800米 一分(五秒二)	日淺 藤
900米 一分(五秒二)	日淺 藤
1000米 一分(五秒二)	日淺 藤
1100米 一分(五秒二)	日淺 藤
1200米 一分(五秒二)	日淺 藤
1300米 一分(五秒二)	日淺 藤
1400米 一分(五秒二)	日淺 藤
1500米 一分(五秒二)	日淺 藤
1600米 一分(五秒二)	日淺 藤
1700米 一分(五秒二)	日淺 藤
1800米 一分(五秒二)	日淺 藤
1900米 一分(五秒二)	日淺 藤
2000米 一分(五秒二)	日淺 藤

★廣告料は一回に付一圓  
 一回以上何欄でも結構です  
 尙長期契約を歓迎いたします

### 齒科 健康保險醫

東京醫科齒科大學  
 得業士 重松勝八郎  
 顧問 重松 三幸  
 診療所 千住壽町八二  
 河原町七一  
 電話二〇八三

ゴム加工機械  
 及化學機械  
 農器具製作  
 合名會社  
 足立製作所  
 代表社員 千明正好  
 本社 足立區本木町一ノ二五  
 工場 足立區本木町一ノ二五  
 電話(足立)三六九三番  
 自宅 足立區本木町三ノ六七五

## 親切 堅實

# 東海銀行 支店

## 千住

千住一丁目六五隣  
 千住立區役所

### 三和護謨 製造合資會社

足立區西新井町一六七五  
 電話足立(二三八)一〇  
 二三八一

諸印刷と文房具  
 織田印刷所  
 千住二ノ五五  
 電話三七六七番  
 北千住美觀商店街通